

「ひょうご子ども・子育て未来プラン(2025～2029年)」の 数値目標について

1 目標設定の考え方

出生数や合計特殊出生率を取り巻く環境は、①本県出生数の94%を占める20～30代女性人口が引き続き減少、②完結出生児数も横ばい、③50歳時未婚率の上昇、等非常に厳しい状況にある。

一方、改定プランの計画期間は、国の「こども未来戦略」（加速化プラン）がスタートし、国と自治体が一体となって、次元の異なる少子化対策が推進される。

以上を踏まえ、次期プランにおいては、**合計特殊出生率の一定水準を維持する**ことを目指し、これを踏まえた**出生数については、減少幅を緩やかにとどめる**ことを目標に取り組む。

一方、本県の保育や子育てを巡る状況下では、未だ保育所待機児童数(R6)256人（全国4位）、放課後児童クラブ待機児童数(R5)992人（全国5位）と、高い水準にある。改定プランにおいても、**待機児童の早期解消**を目標とする。

また「誰もが安心して子育てできる兵庫の実現」という改定プランの基本理念の実現度合いを測るため、新たに、子育て環境の満足度という**当事者の視点に立った成果指標**を新たに設定する。

2 目標値（案）

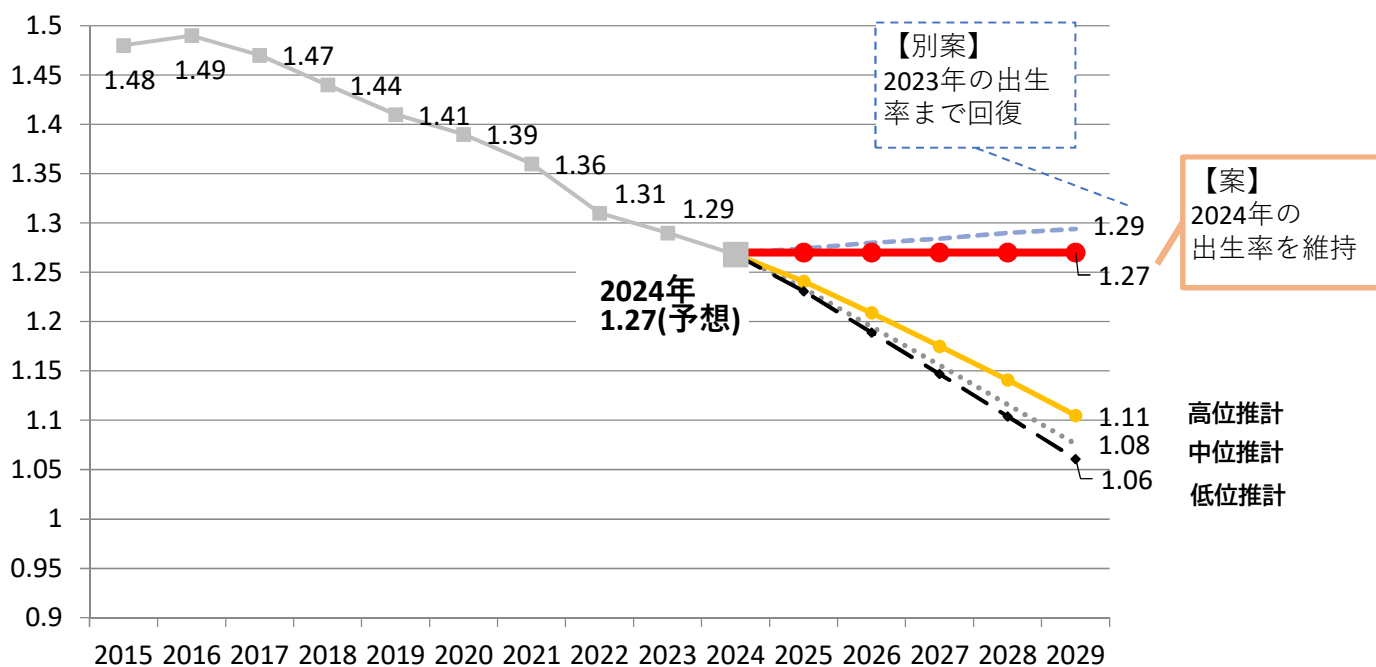
(1) 合計特殊出生率

過去の増減実績を元に算定し、計画期間中の合計特殊出生率について3パターンを試算した。現在の趨勢が継続すれば、2029年の出生数は1.11（高位推計）と、2024年よりも0.16ポイント低下する見込み。

区分	2024	2025	2026	2027	2028	2029	増減 (2029-2024)
	(R6)	(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)	
【高位】	1.27	1.24	1.21	1.18	1.14	1.11	△ 0.16
【中位】	1.27	1.23	1.20	1.16	1.12	1.08	△ 0.19
【低位】	1.27	1.23	1.19	1.15	1.10	1.06	△ 0.21

案：2024年の合計特殊出生率を維持

2024年合計特殊出生率の1.27を計画期間内の維持を目指す。



(2) 出生数

(1)の合計特殊出生率の達成のために必要な出生数15万人を5年間の目標数とする。

(単位：人)

区分	2025	2026	2027	2028	2029	5 か年計
	(R7)	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)	
高位推計(A)	29,641	28,687	27,764	26,870	26,006	138,968
目標値(B)	29,900	29,600	29,500	29,400	29,300	147,700 ≒15万人
(C)= (B)-(A)	259	913	1,736	2,530	3,294	8,732

(3) 待機児童数

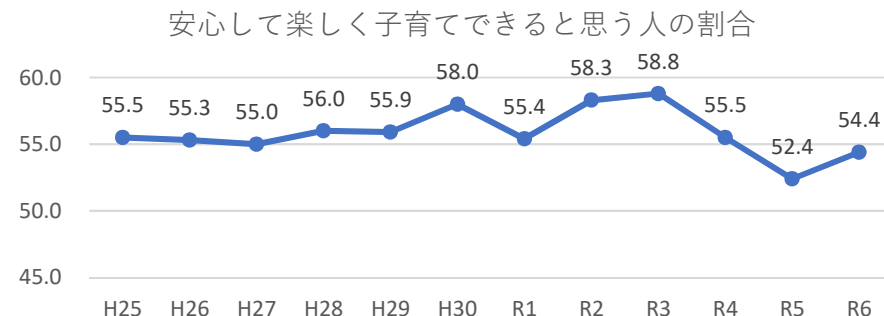
計画期間中、早期に待機児童数 0 を達成

(4) 安心して子育てできる社会の実現度

住んでいる地域で、安心して楽しく子育てできると思う人の割合 **60.0%以上 (2029年)**

毎年度実施している「ひょうごの豊かさ指標」における県民意識を用いて、目標とする。

目標値は、過去最高値である令和3年度の58.8%を上回る60%以上とする。



※R4年に質問項目変更。以前は「住んでいる地域では、子育てがしやすいと思う人の割合」